

ひらいた門

見よ。わたしは、だれも閉じることのできない門を、あなたの前に開いておいた。なぜなら、あなたには少しばかりの力があって、わたしのことばを守り、わたしの名を否まなかったからである。 黙示録 3 : 8

VOL.03-07 NO.028 2011年7月

チャーチ・オブ・ゴッド

川崎南部キリスト教会

〒210-0025 川崎区下並木66

TEL&FAX 044-233-3648

Eメール：nanbu-kyokai@nifty.com

URL：<http://kawasaki-nanbu-kyokai.com>

「訓練はいつ物をいうか」

橋本幸夫

「あなたは、人がその子を訓練するように、あなたの神、主があなたを訓練されることを、知らなければならない。」

(申命記 8 : 5)

アラビヤの砂漠地帯での馬の訓練について興味深い話があります。馬はラッパの合図に従って動くように調教され、最終段階では水を与えられません。

うんと喉の渴いた状態で川が見える場所に連れて行かれると、馬は乾きをいやそうと川に向かって走り出します。しかし、そこで立ち止まり、ラッパの合図があるまで待っている馬だけが、実際の役に立つものとして用いられるというのです。

現代っ子の一番嫌いな言葉は訓練と忍耐だそうです。ある小学校の先生は、やがてこのような言葉がなくなる、と言われました。事実なら恐ろしいことです。

訓練され、忍耐のできる者がやがては人生の勝利を得、いざ何か事が起きたときに、その人の訓練されてきた人生が物をいうのです。

毎日の小さな出来事の中で、しっかりし

つけられる訓練を喜びとする人間でありたいものです。

ルイ・ブライユは革製品を作るお父さんの仕事道具をいたずらしているうちに、うっかり錐で目を突き盲目になってしまいました。1812年のことです。それから彼は17年後、20歳の時に盲人にも読むことができるように点字を発明しました。

彼は自らの悲劇を一転して何百何千という人々の祝福の基としたのです。悲劇が勝利をもたらした人生が多くあることは何という励ましでしょうか。

ハレルヤ・コーラスはヘンデルが56歳のとき半身不随の身でありながら作曲したものです。ベートーベンは聴力を失ってから第九を作曲しました。ヘレン・ケラーは「私は生涯があったからこそ、神を見いだすことができました」と言いました。困難は訓練によって祝福の始まりとなります。

自己訓練の五つのポイントを紹介しましょう。

①本を読むこと。②物事を鋭く観察すること。③人の話をよく聞くこと。④出来るだけ多くの人と話し合うこと。⑤一人になり物を考えること。